

施策評価シート(平成27年度評価実施)	担当部課名	総務部 安全安心課	関連部課名	
基本目標	安全で快適な魅力あるまちづくり【都市基盤・安全】			
施策名	交通安全			
交通安全思想の普及を図るために、交通安全教室や広報活動などの情報提供の強化、地域が主体となった交通安全活動の促進、警察や地域との連携による交通事故防止、通学路の安全確保や交通安全施設の整備などの取組を推進します。				
施策が目指す蒲郡市の将来の姿				
●交通事故が少ない誰もが安心して暮らせる安全なまちとなっています。				

◆具体化した施策の取り組み実績

1 交通安全思想の普及

項目	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度計画
交通安全教室の開催	60回	58回	70回
ベビーシート貸出	112人	113人	130人

2 安全な道路環境の整備

項目	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度計画
道路反射鏡設置	8基	7基	6基
道路区画線設置	1,090m	1,104m	2,350m
道路照明灯設置修繕	2,801,771円	1,950,912円	3,302,000円

3 地域との連携による交通事故の防止

項目	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度計画
交通安全都市推進協議会事業	9,541,412円	9,362,727円	9,982,000円
交通指導員設置	12人	11人	12人

◆評価指標

指標名	区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	将来目標
交通安全教室参加者率	目標値	65.00人	65.00人	65.00人	70.00人
	実績値	59.80人	53.65人		平成33年度
	目標値				
	実績値				平成33年度
	目標値				
	実績値				平成33年度

◆指標の説明・考え方

指標名	説明・考え方
交通安全教室参加者率	人口1,000人あたりの交通安全教室参加者数

◆指標の分析

自転車・バス等の実技を伴った体験型の教室も開催しており、屋外で実施されることが多いため、天候の影響を受けやすい。このため、各教室開催の実績に影響が出ている。

◆今後の方針

高齢者の交通事故が多発傾向にあることから、高齢者の交通安全対策が喫緊の問題である。特に老人クラブ非加入者に対しての交通安全啓発は、老人クラブ加入者に比べ機会が少ないため、検討課題となっている。
また、交通指導員設置について、1名欠員となっているため採用を求めているが、適任者が見つからない。

今後の施策展開
ソフト事業として、交通安全教室の開催や交通安全キャンペーンを展開し、特に自転車運転者の交通安全マナー向上と高齢者の交通安全意識の普及を中心として実施する。ハード事業としては、区画線の再塗装や道路反射鏡の設置により、安全に通行できる道路整備を進める。

課長評価	構成事業の進捗状況	B: おおむね計画どおり進行している。
	施策の進め方	B: 一部見直しが必要である。
	コメント	ハード対策については、道路照明灯・カーブミラー・道路区画線設置等、限られた予算の中で、できる限り地域住民の要望に対応していく。また、ソフト対策については、即効性は無いが、一人ひとりに確実に交通安全意識を普及させることができれば、効果が大きい。また、事業を進めるためには警察、地域との連携が不可欠である。

部長評価	施策の進捗状況	B: 目指す将来像実現に向けておおむね計画どおり進行している。
	コメント	道路照明灯やカーブミラー等は順調に設置している。 自転車やバス等の実技を伴った体験型の教室は、園児や児童の交通安全意識を高揚させている。 多発傾向にある高齢者の交通事故の減少と自転車運転者の交通安全マナーの向上に取り組んでいく必要がある。